

総合環境政策局環境教育推進室

1. 事業の概要

幼児期は、人間形成の基礎が培われる大切な時期であるとともに、生涯にわたる環境保全意識を育む基礎を身に付ける重要な時期でもある。

現在、幼稚園や保育所では、幼稚園教育要領や保育所保育指針に基づく教育や保育が行われており、その指導の重点分野として共に「環境領域」が盛り込まれているものの、環境教育の取組は幼稚園教諭や保育士の技量、関心等に左右され、程度のばらつきが大きい状況である。

21世紀環境立国戦略で示された「21世紀環境教育プラン」においては、いつでも、どこでも、誰でも質の高い環境教育を受ける機会を創出することとしており、現在、具体的な環境教育の指針が示されていない幼稚園・保育所の幼児に対しても、適切な環境教育を提供する必要がある。

幼児が、様々なフィールドや発達段階に応じた環境教育を受けられるようにするため、幼児向け環境教育プログラムの開発と普及、幼稚園教諭・保育士に対する研修等を実施する。

2. 事業計画

(1)平成20年度

幼児に対する環境教育の優良事例の収集、フィールド別・発達段階別の幼児向け環境教育プログラムの開発、同プログラムを用いた全国30か所程度での試行調査及び幼稚園教諭・保育士向け研修会の開催。

(2)平成21年度

幼児向け環境教育プログラムの全国展開及び幼稚園教諭・保育士向け研修会の開催。

3. 施策の効果

幼児期から、身の回りの環境や身近な環境問題に関心を持たせ、環境保全意識を育むことで、将来、自発的・具体的に環境保全活動に取り組む子どもが増加し、持続可能な社会の構築がより一層促進される。

4. 備考

調査費 29,981千円(上記(1)の各種調査)

未就学児を対象とした環境教育

課題

幼稚園

保育所

環境教育についての
具体的指針なし

ゆえに

取組の差 大

対策

21世紀環境教育プラン いつでも、どこでも、誰でも、質の高い環境教育

未就学児（幼児等）向け環境教育プログラム

有識者検討会

環境教育優良事例調査
プログラム検討

フィールド別・発達段階別の 環境教育プログラムの作成

幼児同士の交遊を深めつつ、楽しみながら、
屋内及び野外において、幼児の発達段階に
応じて環境意識を育めるプログラム

教員・保育士 研修

環境全般に対する知識の習得
幼児向け環境教育プログラムの
周知

環境カウンセラー等制度の活用



全 国 展 開

